

子どもの本だな 32

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

マイク・マリガンとスチーム・ショベル

バージニア・リー・バートンぶん・え
いしいももこやく (福音館書店)

マイク・マリガンはメアリ・アンという名前のスチーム・ショベルを持っていました。マイクとメアリは、何年も一緒に運河や鉄道線路、ハイウェイを通し、飛行場を造り、高いビルの深い地下室を掘ってきました。新式のショベルが発明されて、スチーム・ショベルを雇う人がいなくなっても、マイクはメアリの手入れを続けました。ある日、田舎の小さな町で新しい市役所を建てることになり、マイクとメアリは百人の人間が一週間かかって掘るくらいの大きさの地下室を一日で掘ってしまうと請け合いました。翌日、日の出から掘りはじめたマイクたちを見ようと大勢の人がやってきました。

見物人が多ければ多いほどいよいよ速くきちつと四角にほりすすむマイクたちを、テンポのよい言葉とダイナミックな構図で描いています。読んでもらえば4、5歳から。(片木)

ルーシーのぼうけん

キャサリン・ストーア 作
山本 まつよ 訳 (子ども文庫の会)

三姉妹の末っ子ルーシーは、男の子になりたくて、服装もおもちゃも男の子のようでした。男の子たちから泥棒を捕まえたら仲間に入れてやると言われ、探偵になったつもりルーシーは怪しい人や事件を探し始めました。塀の上で寝そべってあたりを眺めていると、二人組の男が、近所のお屋敷から大きな荷物を次々に運び出し、緑色のバンへ積み込み始めました。ルーシーは泥棒たちのバンに潜り込んで追跡し、隠れ家を突き止めると、男たちの顔や車のナンバーを必死に覚えました。

怖くなると「あたしは男の子だ！」と言いながら大胆に行動するルーシーに、はらはらさせられながら一気に読み終えます。泥棒を捕まえたお礼に素敵な贈り物を貰い、男の子たちから大歓迎されるルーシーの姿に大満足です。続編に『ルーシーの家出』があります。読んでもらえば六歳くらいから楽しめます。(池之上)

6月	7月	6・7月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
9日	7日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
16日	14日	岩見構下 公民館 10:30~10:50	岩見構上 公会堂 11:00~11:20	原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
23日	21日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		吉福 公民館 15:30~15:50	太子 ニュータウン 公民館 16:00~16:30

お知らせ**絵本の交換会**

家でもう読まなくなった絵本はありますか？図書館に持ってきてくだされば、他の方の絵本と交換できます。

6月11日(土)**10時30分~15時30分**

場所：図書館・読書会室

『植物は<知性>をもっている 20の感覚で思考する生命システム』

ステファノ・マンクーゾ アレッサンドラ・ヴィオラ共著 久保 耕司 訳

NHK出版 211頁 2015年11月刊 1,800円 (請求記号)471.3

紀元前より、植物は、動かないため、生物と無生物の境界に位置づけられてきた。しかし、植物は視覚、聴覚といった五感のほか、さらに十五の感覚を備え、おかれた状況を把握し、周囲の植物や昆虫、動物と情報交換をする。著者は、知性を「問題を解決する能力」と定義し、植物の生態を紹介しながら、植物が知的な生き物であることを示していく。

植物はにおいを感じることも作り出すこともできる。植物の嗅覚は、揮発性物質を受け取ること。そして、においは言葉でもある。トマトは昆虫に襲われると、数百m離れた植物にも警告が届くほど大量の揮発性物質を出す。警告を受けた植物は、葉を虫の嫌う味に変えたり有毒なものに変え、身を守る。さらに、肉食で大食いのダニの攻撃を受けたライマメは、肉食のダニを呼ぶこともできる。花が放つにおいは花粉を媒介する虫に向けてのものだが、セージやローズマリーのように花以外にもにおいを発するものがどのようなメッセージを持っているのかは分かっていない。植物が様々な化合物を組み合わせ発している言葉が解明されるときがくるのだろうか。

植物が昼と夜に姿勢を変える就眠運動で、植物の葉は、かつて芽だったときにとついていた姿勢をとる傾向があることや、植物も若いときはよく眠り、年を取ると目覚めている時間が長くなるなど、自分たちと変わらない植物の姿に驚く。美しさだけに向けていた目を植物の内部へも導いてくれる。

(竹内)

6月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

<一日図書館員を募集>
図書館員の仕事を体験してみませんか。
7月24日(日)
9:15~18:00
小学6年生~高校3年生
詳しくはお問い合わせください

カレンダーの×印は休館日です。
開館は10時~18時。
金曜日は20時まで開館しています。

地下水

太田公民館で開かれている「あそびの館」で、絵本を読んだ。0〜2歳くらいの子どもたちが対象なので、『おおきなかぶ』（福音館書店）や『とらつく』（金の星社）、赤ちゃん向けの『0・1・2シリーズ』（福音館書店）など、5冊を選んだ。絵本の時間が始まる前は、広い座敷を行ったり来たり、よたよたと走っていた子どもたちも、絵本が始まるとお母さんに抱っこされて絵本に見入る。まだ言葉らしい言葉も話せないのだが、挿絵を指さしては「おっ、おっ」と語りかけてくる。今はたくさんの言葉を耳で聴いて、自分の中のためにため込んでいる時期。美しい日本語でゆつくりと、おだやかに語りかけてあげたいと思う。

4月から、3〜4か月乳児を対象に絵本をプレゼントする「ブックスタート」が始まり、ここでも小さな赤ちゃんに接する機会が増えた。初めての場所で、好奇心いっぱい目のをきよるきよるさせている子を見ると、思わず「おりこうねえ」と覗き込み、驚かせてしまったりする。世の中では、何事につけても低年齢化し、絵本も「赤ちゃんから読んであげましょう」という傾向があるが、後々の「お勉強」につながるというよりも、めまぐるしい子育ての中で、ほっと一息、赤ちゃんと一緒に絵本を見ながら、おだやかな楽しい時間を過ごしてほしいと思う。

(池田)

